

平成28年度アンケート（抜粋）

1 今回の研修は有益でしたか。

- この研修プログラムは期待以上に有用で印象深いものでした。研修の構成内容は、何が起きて、その後のどのように対処されてきて、そして将来に備えてどのような努力がされているか様々な側面を見せてくれました。
- 放射線診療機関に勤務する看護師として、放射線災害に対する歴史が実感できる契機になりました。普段文献を通して接していた放射線急性障害、被爆による染色体の変化などを直接みることができました。また、福島原発事故に対する生々しい経験談を聞くことができ大変よかったです。
- HICARE研修は、原子爆弾がもたらした有害影響についての専門知識以上のものを教えてくれました。今では以前よりもっと広い視点で捉えられるようになったのは間違いありません。
- 広島大学病院で胃腸がんの外科治療を見直すことができたのはとても有意義でした。

2. この研修で得た知識、または技術を実際にどのように利用するつもりか説明してください。

- 自身の研究所で、蛍光細胞数測定法を用いた疫学的手法を始めてみようと思います。
- （学んだ）知識を学部生向けの環境衛生の講義で用いるつもりです。その内容が受け継がれていくことを祈っています。
- この研修は、患者特に小児に対する被曝を可能なかぎり最小限にするために、放射線を用いる画像診断処理の使用には十分気を付ける必要があると気づかせてくれました。私の勤務する日伯友好病院にて、CTスキャンの合理的な使用についてのルールを策定し、実施しようと思います。
- 得られた知識を私の学術的な発表や、地域の会合、そして直接患者の治療に用いるつもりです。

3. HICAREの事業をより改善するために、今回の研修に関するあなたのご意見をお聞かせください。カリキュラムや期間、その他について。

- 教授やその他のすでに経験値の高い研究者の参加に絞ろうとせず、この研修プログラムにもっと学生や学部生（準研究員）を参加させてはどうでしょうか？また一度に大勢の研修生を参加させるのも良いのではないのでしょうか？
- 特に変更点などのアドバイスは思いつきません。研修施設への訪問はそれぞれ有益だったと思います。

4. 広島での滞在について

(1) 広島での生活にどのような印象を持たれたか教えてください。

- 多くの川や山そして瀬戸内海の島々へつながる街の配置が素晴らしかったです。歴史と平和についての市民の取り組みに感銘を受けました。
- 広島は快適で美しい街です。広島で出会ったたくさんの方々の親切さ、温かさそして平和を愛する心を決して忘れません
- 清潔かつ近代的であり、街路樹が並んだ広い道や、整備された交通システムを備え、人々の教養レベルも高く、広島での生活は大変質が高いものでした。またブラジルの人間にとって日本はどこにいても大変安全に感じました。

(2) 広島での滞在中、日常生活で不便を感じたことがあれば教えてください。

- 不便はありませんでした。親切できれいな街が印象的です。
- 提供して頂いた地図の中に目印となるランドマークが印されていればもっと便利になると思います。

5. 研修を終えて感じたこと

- 講義はすべて参加する価値のあるもので、中には真に感動的でした。特に小倉氏と鎌田先生の講話は格別でした。次世代の多くの方がまたこの有益な体験ができるように、彼らの知識を録画しておくことを HICAE に強く勧めます。
- 講義の順番も大変良く考えられたものであり、講義を終えるたびに知識レベルが適切に上がっていき、最終日の放影研では（そこは私の理解では集団の放射線被ばくに関する第 1 級の公式な研究機関ということですが）最も高められていきました。
- この研修で最も印象深いのは人です。HICARE と関係機関の人々がどれだけそれぞれの職務に献身的に関わっているかにまさに感銘を受けました。